



**松江市
歩行者移動支援、オープンデータ
に関する取組**

平成27年7月 松江城国宝化指定

松江市の概要

松江市はこんな街・・・

数値では

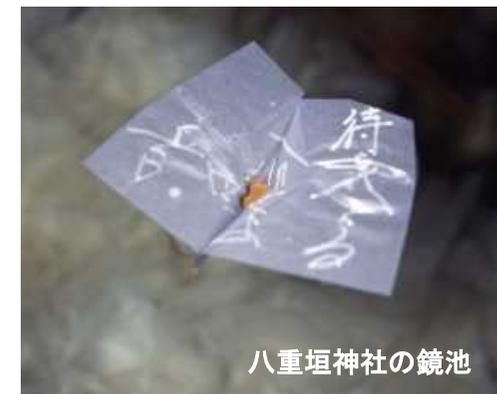
人口:204,952人 面積:572.99km²

位置(市役所):

東経133度 4分 北緯35度27分



宍道湖の夕日



八重垣神社の鏡池



堀川遊覧



お茶と和菓子

言葉では

「宍道湖の夕日」、「国際文化観光都市」、「水の都」、「神話」、「温泉」、「お茶と和菓子」、「縁結び」、「怪談」、「しじみ」、・・・



玉造温泉



宍道湖七珍

松江市の概要

松江市の取組

IT分野の取組は

松江市=Ruby City MATSUE

OSS※1と「Ruby」※2をテーマとした、「Rubyの街」としての新たな地域ブランドの創生を目指しています。「Ruby」をキーワードに、気軽に立ち寄り、技術・情報を交換することができる場所を提供し、人材・情報の交流拠点、ビジネスマッチングの拠点としての役割を担うことを目指しています。

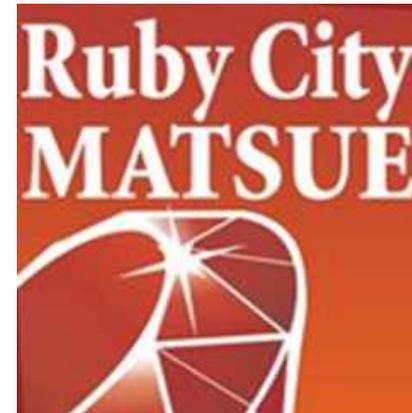
※1 OSS:オープンソースソフトウェア

※2 Ruby: 松江発の国産プログラミング言語

福祉分野での取組は

ユニバーサルデザインの都市づくり

「松江市ひとにやさしいまちづくり条例」に基づき、高齢者、障がい者等をはじめとするすべての人が安全で快適に利用できる建築物や道路の整備など、都市施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進。



点プロあり		点プロなし	
A	歩道あり/通行長	—	*****
B1	歩道あり/通行やや長	—	*****
B2	歩道なし/通行やや長	—	*****
C	歩道あり/通行短	—	*****

○	点字ブロックとつながっているバス停
⊗	点字ブロックとつながっていないバス停
●●●	信号
■	音声誘導あり
■	歩行者支援信号
■	押しボタン信号



松江市の現状(ユニバーサルデザインに関する取組)

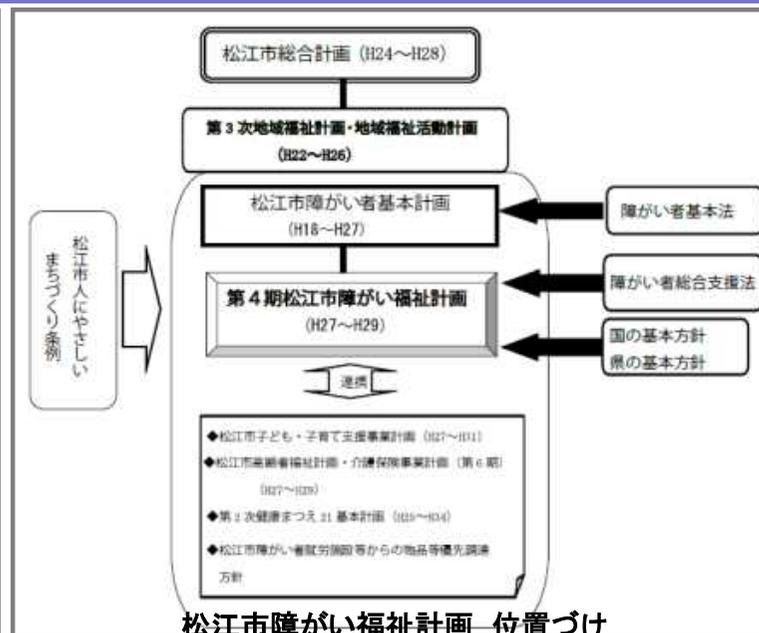
ユニバーサルデザインに向けた取組

■松江市交通バリアフリー基本構想策定
(平成16年3月)

■人にやさしいまちづくり条例制定
(平成21年1月1日施行)

■松江市障がい福祉計画策定
(第4期計画 平成27年3月)

■NPO 法人プロジェクトゆうあいと松江市
が連携
「松江バリアフリースターセンター」の運
営、バリアフリー情報総合サイト「てくてく
ウェブ松江」等運用。(平成25年)



松江市のオープンデータへの取組①

取組の歴史

1999年 松江の写真を誰もが自由に利用できるように、検索システム（松江百景）を構築し、写真データをインターネット上で公開開始

2006年 Rubyで構築した業務システム等のソースコード随時公開
Ruby City MATSUE プロジェクト開始



2007年 統計データベース運用開始インターネット上で公開



2013年 オープンデータの取組を島根大学と地元IT企業と開始
ビジネスプランコンテスト2014(実行委員会)

2014年 松江ソーシャルネットワークマップシステムを開設
Ruby × オープンデータアイデアコンテスト開催
松江まちあるきオープンデータソン開催



2015年 地元IT企業と連携しMatsueオープンデータバンクを開設
オープンデータ活用歴史ハッカソンin松江開催



松江市のオープンデータへの取組②

松江市オープンデータポータルサイトの開設

松江市統計情報データベースをインターネット上で公開(平成19年)。
■429件のデータを登録。
■担当課で自由にデータ登録できる仕組み。

松江市統計情報データベース
Statistics Information of MATSUUE city

松江市統計情報データベースでは、松江市に隣接する統計データや統計関連図書の情報を提供しています。

利用の手引き | 統計データ検索 | 統計関連図書検索

新着情報

- 【2016/01/07】 [人口及び世帯数の推移月報\(2015年12月\)](#) Excel(31KB)
- 【2016/01/06】 [人口・世帯数\(公民館の別別一覧表\)2015年12月](#) Excel(56KB)
- 【2016/01/06】 [人口・世帯数\(公民館の別別一覧表\)\(2015年12月\)](#) Excel(57KB)
- 【2016/01/06】 [町丁目・年齢別人口集計表\(2015年12月\)](#) Excel(511KB)
- 【2016/01/06】 [町丁目・年齢別人口集計表\(女性別\)\(2015年12月\)](#) Excel(140KB)
- 【2016/01/06】 [町丁目・年齢別人口集計表\(合計\)\(2015年12月\)](#) Excel(47KB)
- 【2016/01/06】 [町丁目別世帯人口集計表\(2015年12月\)](#) Excel(52KB)
- 【2015/12/10】 [人口及び世帯数の推移月報\(2015年11月\)](#) Excel(31KB)

お知らせ

- 【2015/08/17】 [統計データの文字列検索](#)
- 【2014/11/11】 [利用の手引き](#)
- 【2013/01/22】 [統計データのファイル名検索](#)
- 【2012/10/16】 [松江市統計情報データベースシステム移行のお知らせ](#)

松江市の公共データを提供する「Matsueオープンデータバンク」オープン(外部リンク)
松江市が保有する公共データをオープンデータとして公開しています。

地図で見る松江市

松江市の地図を閲覧してください。

平成27年12月末現在 (住民基本台帳登録数)

総人口	204,952人
男	98,188人
女	106,764人

世帯数 87,567世帯

住民基本台帳法の改正により、外国人住民が住民基本台帳法の適用対象になったこと(平)平成24年7月末現在(分)以来から「住民基本台帳登録数」には外国人住民の数が含まれています。

Today's Choice

松江市の統計について、特集を組みました。知ってお得な統計ランキングや最近の統計現象など、その時々、旬な情報をどうぞ！

click

松江市の人口ピラミッド (2015年12月)

松江市統計情報データベース

松江市のオープンデータへの取組③

統計情報をクリックすると・・・

公開しているデータは、統計データが主。

例えば・・・

毎月、町丁別年齢別(1歳ごと)や公民館区別の住基データを公開。

統計情報データベース > 統計データの検索

統計データの検索

分類指定

- 全て
- 土地・気象
- 人口(2007年度以降)・国勢調査
 - 人口
 - 国勢調査
- 人口(2006年度以前, PDF)
- 事業所
- 農林水産業
- 紙工業
- 商業
- 金融
- 運輸・通信
- 観光
- 都市計画
- 建設・住宅
- ライフライン
- 市民所得・物価・消費
- 社会福祉・労働
- 保健衛生・環境

キーワード指定

統計タイトル一覧

【分類】人口(2007年度以降)・国勢調査の統計タイトルを表示しています。

- 統計タイトルを選択すると統計データの一覧が表示されます。
- キーワードから統計データの絞り込み検索が可能です。

検索結果 44件

No	統計タイトル名	この
1	町丁別世帯数・人口調査	
2	人口及び世帯数の推移月別	
3	町丁別・年齢別人口集計表(合計)	
4	町丁別・年齢別人口集計表(5歳刻み)	
5	町丁別・年齢別人口集計表	
6	人口・世帯数(公民館別町別一覧表)	
7	人口・世帯数(公民館別町別一覧表)65才以上	
8	外国人登録者数	
9	国籍別外国人登録者数	松江市統計書掲載

町丁別・年齢別人口集計表

区分	男女計		年齢													
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
鷺町	2	0	4	3	1	1	2	2	2	3	2	1	1	2	1	
鷺町	1	3	0	4	2	1	3	3	2	3	3	5	3	5	1	
鷺町	3	3	4	7	3	2	5	5	4	6	5	6	4	7	2	
母衣町	1	2	1	5	2	2	2	2	1	2	1	1	2	6	1	
母衣町	3	0	2	4	2	3	3	1	5	5	2	1	1	2	0	
母衣町	4	2	3	9	4	5	5	3	6	7	3	2	3	8	1	
末次本町	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	
末次本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
末次本町	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	
東本町1丁目	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
東本町1丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東本町1丁目	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
東本町2丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東本町2丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
東本町2丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
東本町3丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
東本町3丁目	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	
東本町3丁目	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	
東本町4丁目	0	0	2	1	1	0	1	0	2	2	1	0	0	2	0	

松江市統計情報データベース

施設など住所の情報は保有しているが、位置情報がないのが課題・・・

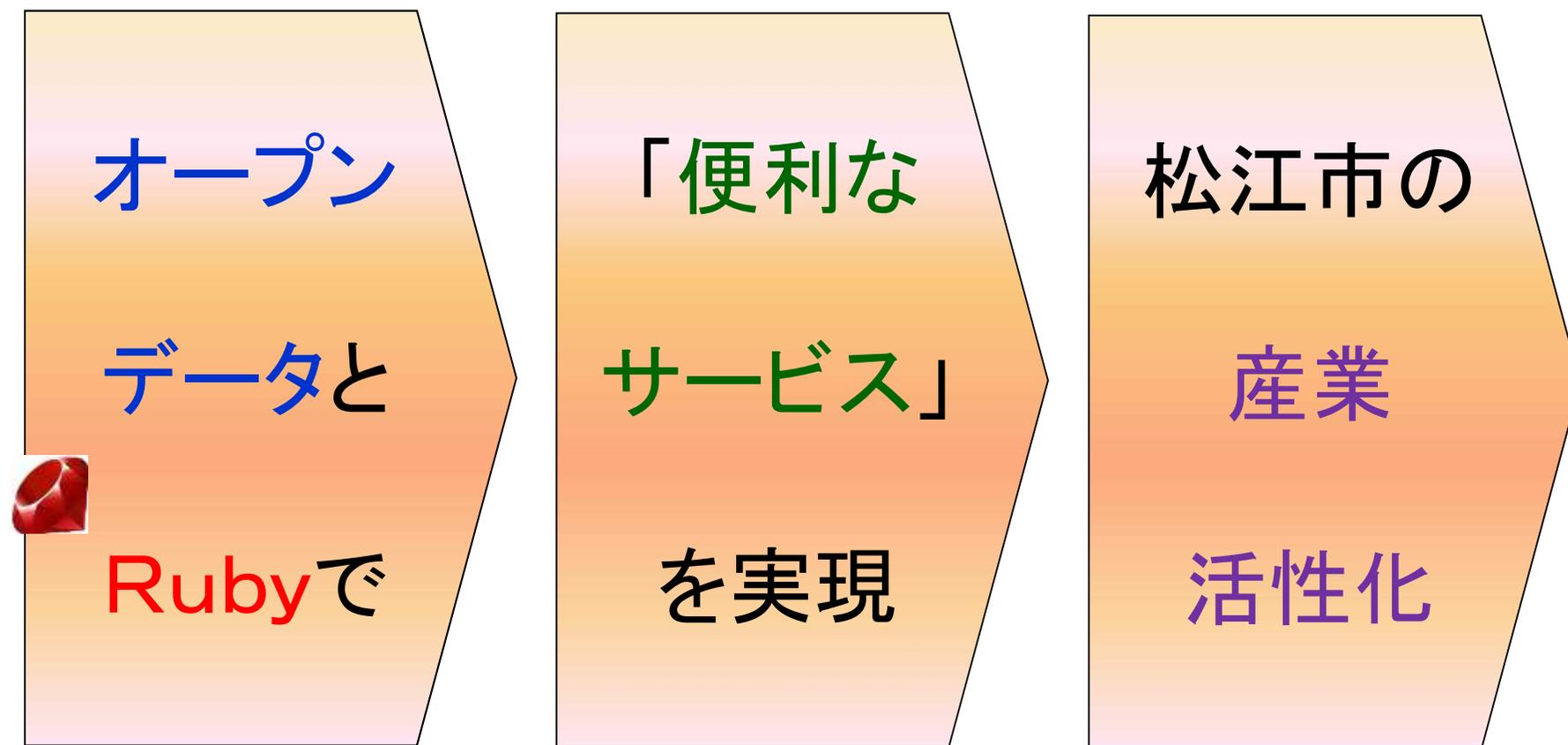
松江市のオープンデータへの取組④

まずは …… みんながHAPPYに!

- ① みんなが『いいな』と思える成功事例を!
- ② 『機械』にも『人』にも分かりやすい形で!
- ③ オープンデータのルーチン化へのルールを!
- ④ 有益なデータは、『産学官』問わずオープンに!
- ⑤ どんどん オープンデータに!

松江市のオープンデータへの取組⑤

地域の問題を解決をしよう！



松江市のオープンデータへの取組⑥

オープンデータを活用した地域産業振興(平成25年～)

- 島根大学と共同研究開始
- 「松江ソーシャルネットワークマップシステム」構築
→観光情報、歴史・文化情報のオープンデータ化
- ハッカソン等のイベント開催

松江ソーシャルネットワークマップシステム Home マップ イベント 歴史情報

松江ソーシャルネットワークマップシステム(Social Network Map System, Matsue)は、松江市や島根大学が保有する観光情報システムを用いて地図上に表示できる仕組みです。掲載されている情報を利用される方が再利用することができ活用することが可能です。松江ソーシャルネットワークマップシステムはオープンソースのプログラミング言語 Ruby で構築されています。

※オープンデータ：行政機関等が保有する情報（公共データ）を利用しやすい形で公開すると同時に、利用者がその情報を自由に活用できることを目指しています。

カテゴリ: 指定無し キーワード: 検索

2015年 12月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

イベントカレンダー

© Social Network Map System, Matsue Presented by Shimane University and Matsue City Powered by Ruby.

松江ソーシャルネットワークマップシステム

- 由志園
- 佐太神社
- 松江歴史館
- 神清神社
- 八重垣神社

取組事例(オープンデータに関する取組)①



オープンデータを活用した地域産業振興(平成25年～)

島根大学との共同研究

■平成25年度 松江SNMSプロトタイプ構築(ソーシャルネットワークマップサービス)
観光情報、歴史・文化情報等を政府オープンデータ情報基盤に従って地図上に表示するプロトタイプをオープンデータとRubyで構築。

■平成26年度 共通語彙データベース連携
松江ソーシャルネットワークマップシステムへのデータの入力をより進め、IPA(独立行政法人・情報処理推進機構)が提供する共通語彙データベースを参照してデータを入力する機能を追加。

※共通語彙とは、単語の表記や意味、構造を統一した用語を集めたもの
(例) ・「バンドエイド」、「絆創膏」、「カットバン」などの表記を統一
・「時刻」という用語は「時」「分」「秒」から構成される(構造を持つ)

■平成27年度 地域マネジメント活用検討

システムに行政データ(主に歴史情報)、島根大学の研究データ、観光・イベントデータの入力を進め、またオープンデータとして公開・活用を推進。

取組事例(オープンデータに関する取組)②

Matsueオープンデータバンクの構築

「Matsueオープンデータバンク」(自治体データカタログサイト)を開設(平成27年)

- 地元IT企業が経済産業省のオープンデータ実証事業を受託し、松江市の公共データを活用することから**共創で取り組む**。
- 利用者が目的のオープンデータを効率良く探し、活用することのできる**データカタログサイト** (施設情報・統計情報がメイン)。
- 開発は松江市の**地域資源である「Ruby」**を利用。
- Ruby×オープンデータアイデアコンテスト in Matsue(平成26年12月)
:オープンデータを活用した地域課題を解決する**アイデアやアプリ開発イベント**を実施。



松江オープンデータバンク



パソコン画面イメージ

スマートフォン画面イメージ

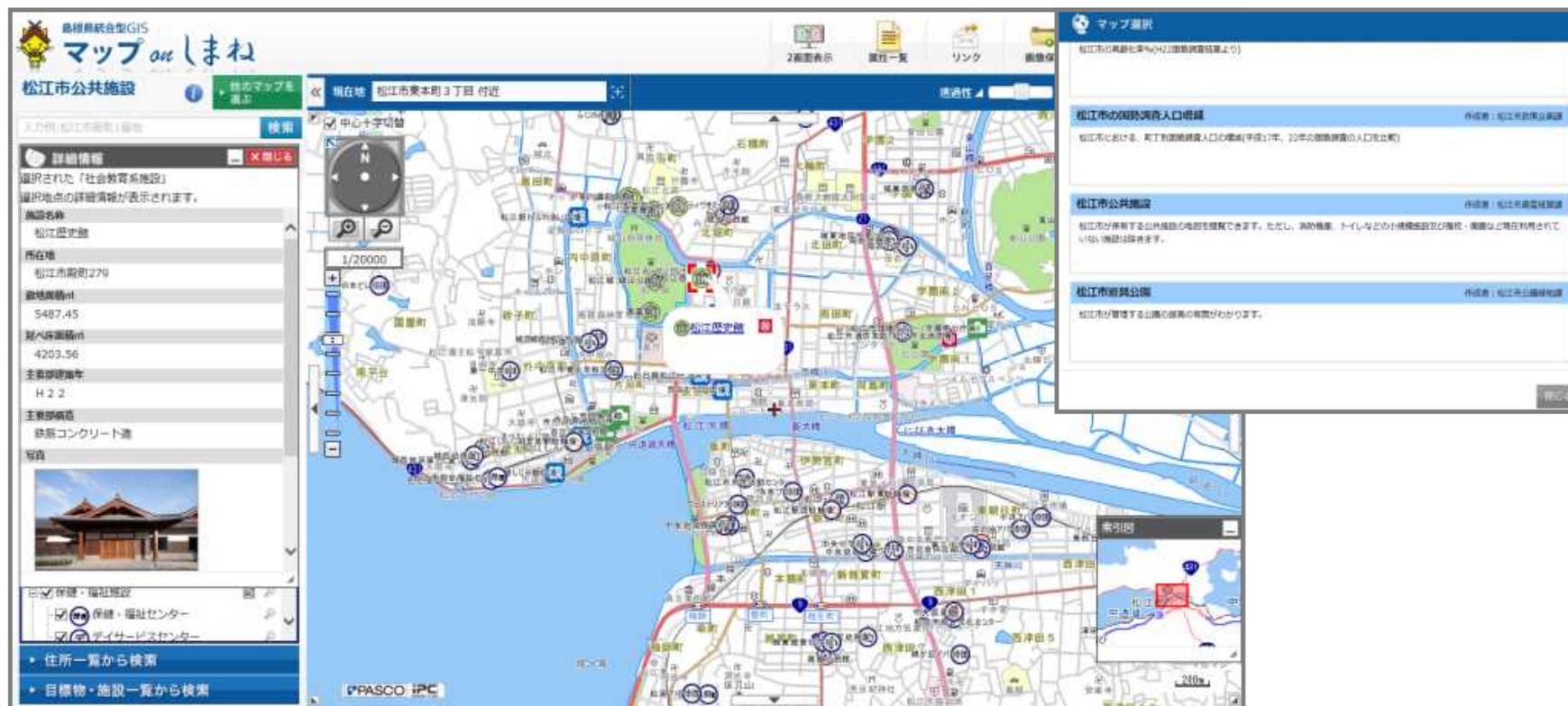
アイデアコンテスト優秀賞作品「イベント」

取組事例(オープンデータに関する取組)③

マップ on しまね との連携

島根県統合型GIS「マップonしまね」は、島根県の様々な行政情報を地図上で閲覧できるほか、一般県民の方からの情報発信も可能なシステム。

- 松江市として6データを登録。毎年、島根県主催の研修に参加し、知識・技術を習得。(土木、消防、都市計画、管財、環境、教育部局参加)
- 視覚的に公共施設の配置状況の把握、今後の適正配置の検討に活用、位置情報に人口データを重ね多角的に検証が可能、市民へわかりやすく公開



マップonしまね 松江市公共施設

松江市の現状(オープンデータに関する取組)④

オープンデータ・アイデアソンin松江(平成25年11月)

総務省・経済産業省主催で6つのテーマでディスカッション。その1つに「**バリアフリーな街づくりと観光(観光)**」をテーマに実施。唯一の地方都市開催。



オープンデータ・アイデアソンin松江



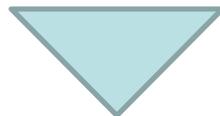
- 松江ナビ、ロコミ情報のパワーのデータ化などオープンデータの活用策や必要なデータについて課題の発見。
- オープンデータの普及、地域課題の発見やアイデアの創出、市民、企業、行政の交流。

松江まちあるきオープンデータソン(平成26年12月)

島根大学と共同で**マッピングアプリ**を活用して学生・市民が集めたデータ(AED)をマッピング。



松江まちあるきオープンデータソン



- この活動を基に学生たちが提案したオープンデータを活用した「バスマップ」アプリが「**松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト**」や「**アーバンデータチャレンジ2014**」で入賞。
- 地域社会の課題発見と解決、人材育成や地域貢献、情報産業振興の促進が期待される。

松江市の現状(オープンデータに関する取組)⑤

オープンデータ活用歴史ハッカソンin 松江(平成27年11月)

松江城国宝化で機運高まったことから歴史をテーマに開催。「松江ソーシャルネットワークマップ」を通じ**オープンデータ化、イベントでアプリ提案**。



島根大学が実施している「学生の自主的活動プロジェクト」の一つである「JD×アプリで地域振興大作戦～オープンソースとオープンデータ活用企画～」の実施主体で大学公認グループの「島根大学JD社中」(JDとは、女子大生の略)を松江歴史館の一日館長に委嘱し、イベントを実施。

オープンデータ活用歴史ハッカソンin松江



- 歴史情報のオープンデータ化、松江歴史館のPR、歴史アプリアイデアの創出。
- 提案されたアイデアを基に地域課題を解決するWebアプリケーションを「**アーバンデータチャレンジ**」や、「**松江オープンソースビジネスプランコンテスト**」などの応募、また公開と実用化を目指す。

歩行者移動支援に関する取組①

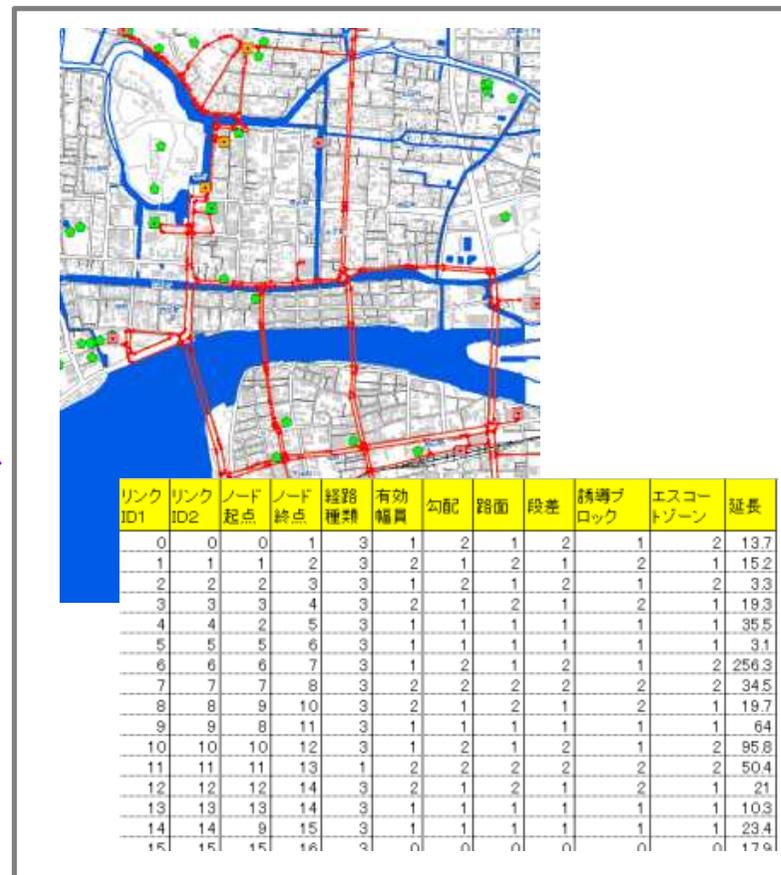
歩行者移動支援に資するオープンデータの整備(経路データ)

- H25年度に整備した歩行空間ネットワークデータに、**経年変化の調査結果を反映**して、最新の歩行空間ネットワークデータ(経路データ)を整備し、オープンデータ化。

<歩道の拡張工事を実施中>



<現地状況に合わせ既存のデータを更新>



歩行者移動支援に関する取組①

歩行者移動支援に資するオープンデータの整備(施設データ)

- 島根県が運用中である住民公開用GIS「マップonしまね」の公共施設データに、地域のNPOが既に所有するバリアフリーデータ(松江てくてくマップ)と市管理の施設台帳情報を結合して、歩行者移動支援サービスにニーズの高いデータを整備し、オープンデータ化。



「マップonしまね」



「松江てくてくマップ」

公園台帳

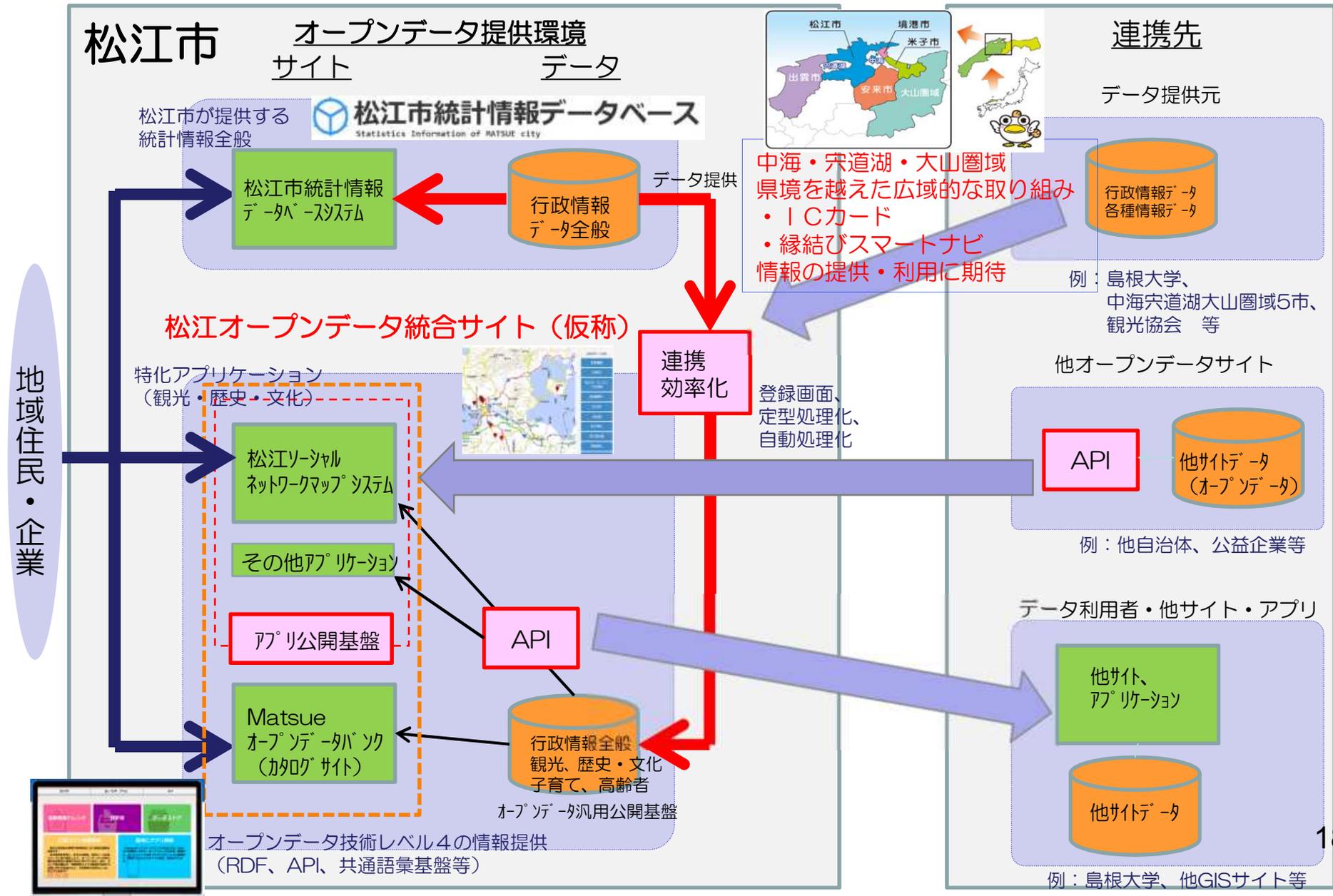
No	名称	住所	電話番号	Np	fx	fy	対象	終了	etc	入口 幅差 2cm以内	スロープ あり	多目的トイレ あり	エレベータ (障害者対応) あり	階段昇降機 あり	点字・触図等の案内 あり	備考
0	松江歴史館	島根県松江市殿町279	0852-32-1607	2	35.28.30.9	133.312.7	08-00	11-00	4	1	76					
1	松江市役所	島根県松江市末次町86	0852-55-5555	2	35.28.5.7					2		1	2	1	2	1
2	島根県庁	島根県松江市殿町1	0852-22-5111	2	35.28.20.5					1	2	1	2	1	2	2
3	島根県民会館	島根県松江市殿町158	0852-22-5511	2	35.28.22.3					2	1	2	1	2	1	1
4	城北公民館	島根県松江市北堀町43	0852-26-4437	2	35.28.45.4	133.256.9	8-00	18-00	0	93		1	1	1	1	1
5	小泉八雲記念館	島根県松江市北堀町堀見親	0652-22-224	2	35.28.30.6	133.327.7	8月30日	18-30	0	59		1	1	1	1	1
6	堀川遊覧船のりば	島根県松江市	0852-27-0417	2	35.28.25	133.39.7	09-00	17-00	1	78		1	2	1	1	2
7	JR松江駅	島根県松江市朝日町472-2	0852-21-3219	2	35.27.50.9	133.349.7	不明	不明	0	239		2	2	2	2	2
8	イオン松江店	島根県松江市東朝日町151	0852-20-1203	2	35.27.51.3	133.49.7	08-00	22-00	0	234		2	1	2	1	2
9	松江中央郵便局	島根県松江市東朝日町138	0852-21-3420	3	35.27.55.7	133.358.9	09-00	19-00	0	229		1	1	1	1	1
10	島根県立美術館	島根県松江市袖師町125	0852-55-4700	2	35.27.35.1	133.3.9	10-00	18-30	1	274		1	2	1	2	2
11	くじびきマッセ	島根県松江市学園南1丁目	0852-24-1111	3	35.28.9.7	133.4.2	09-00	17-00	0	152		2	2	2	2	2
12	プラパホール(松江市総合)	松江市西津田6丁目5-44	0852-27-6000	2	35.27.30.1	133.4.7.9	09-00	22-00	0	268		2	1	2	1	2
13	プロジェクトゆうあい	島根県松江市北堀町35-14	0852-32-8645	2	35.28.42.8	133.316.6	09-00	18-00	1	318		1	1	1	1	1
14	松江保健所	島根県松江市大輪町420	0852-23-1313	2	35.28.45.6	133.334.8	8月30日	17-00	0	74		1	1	1	1	1

オープンデータ化

産官学の連携を目指す (松江市・島根大学・地元IT企業協同プロジェクト)

将来構想 (他サイト、他データとの連携イメージ図)

※矢印 (→) はデータの流れ



歩行者移動支援に関する取組②(H28年オープンデータイベント)

オープンデータイベントの開催(アイデアソン・ハッカソンを実施)

■ イベントタイトル

歩行者移動支援アイデアソン@松江 ～歩行者のバリア解消に役立つサービスを考えよう～

■ 開催趣旨

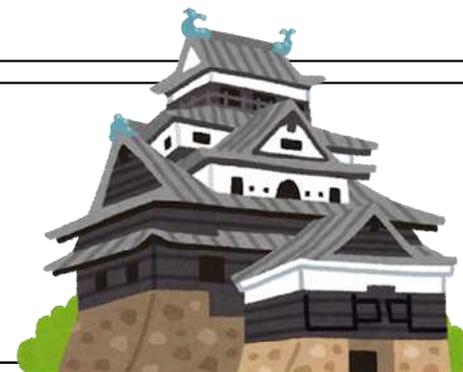
松江市が公開する歩行者移動支援を目的とした『歩行空間ネットワークデータ』や『公共施設などのバリアフリーデータ』を活用した、豊かな街づくりにつながるアプリケーションのアイデア出しや開発を目的としたイベント。

■ 参加者

島根大学学生、ITエンジニア、ITデザイナー、地域事業者、オープンデータや地域振興に興味がある市民の皆さまを対象。

■ 開催情報

- (1)日時 平成28年2月24日(水) 10:00～17:00
- (2)場所 島根大学法文棟1階 地域交流スペース
- (3)主催 島根大学Ruby・OSSプロジェクトセンター
- (4)共催 松江市



■ 内容

日常生活、観光・レジャー、災害などの移動シーンにおいて生じる様々なバリアを解消するために、松江市を始め様々な組織が提供するオープンデータを用いて何ができるのか? そのアイデア出しと発表内容の審査。

オープンデータ推進の取組で苦労した点、工夫した点

取組上で課題

- オープンデータという言葉が職員に浸透していない。
- メリットや活用が不明確のため、理解されにくく、負担感だけとなる。
- どの情報をどこまで出して良いかわからない。情報の開示範囲が不明瞭。
- 公開した後の更新のルーチン化が課題。
- 過年度の事業だと担当も異動しており内容がわからず、当時の様子から紐解く必要あり。
- 取組に対する費用対効果が見えにくい。
- 他の団体との共同の場合、データの責任についてどこが持つのか問題となる。
- 位置情報を表示する際にデータ精度の問題あり。データが多いほど作業量が増加。

取組上で工夫した点(ブレイクスルー、解決法)

- 大学と包括提携により協力体制が構築されているため、スムーズに共同研究することが可能。
- 庁内での推進には協力を得やすい部局からまず依頼。
- 統計DB構築から8年が経ち、データ公開への抵抗が減少。
- データ提供・取組協力を得るために国などからの協力依頼などを活用。
- 目的やジャンルを絞ってオープンデータ化。
- 統計書の各データについて個別にオープン化。
- データをどのように活用するか、どのようなメリットがあるのかなどデータの利活用を目的にしたアイデアソンを開催。
- 自治体からではなく企業などから情報を引き出す取組。
- 担当課の負担を発生させない仕組みを構築。
- 自治体が保有する情報は税金で作ったもの「公開していくのは当然」とする考え方を浸透。
- 自治体独自のルールではなく、国のガイドラインなどを基準とすることを徹底。

取組による期待できる効果

オープンデータ化の取組による期待できる効果

- 行政の**透明化**や、**効率化**が期待できる。
- 市民が**満足いくサービス**の提供。
- 民間と実施することで初期の支援のみで、今後の**更新**や**費用負担の軽減**も見込める。
- 画像データの公開による更なる**観光振興**など利活用。
- 市民団体、企業と**協働で実施**できるツール。

バリアフリー化の取組による期待できる効果

- 企業とも連携することで**ビジネスモデル創出**。
- 他の分野の団体なども参加することで**新たな情報を付加し充実したサービス**が可能。
- **まちあるきサービスの創出、中心市街地の活性化、観光振興**。
- 障がい者だけでなく、高齢者、子ども、さらには外国人が安心して**歩行移動可能なルート**の整備。
- **情報産業の振興**。
- **防犯対策、防災道路の整備の拡充**。

今後の取組、展開

市各部署におけるオープンデータ化の推進

- オープンデータの利用に関する市職員の意識向上。
- オープンデータの作成及びメンテナンスに関する仕組、ルールの検討。

オープンデータの整備と利用の継続を促進

- オープンデータ整備・更新を自発的に促す仕組を導入し、持続可能性を向上。
- オープンデータを活用するアプリのプラットフォームを用意。

NPO、ボランティア等の民間団体との連携

- NPO、ボランティア等の協力を得て、各種イベントの開催、オープンデータの整備促進等を図る。
- 地域のNPOなどと連携し、アイデアソン・ハッカソンを通じて、歩行者移動支援など各種サービスの創出を図る。

島根大学・地元IT企業との連携

- オープンデータを活用した地域マネジメント(まちづくり・健康福祉)の事例調査や、経済効果に関する研究など産官学連携し、取組を推進。

今後期待する事項

国への期待

- 住所の情報を保有しているが、緯度、経度の位置情報はないため、**簡便に取得できる仕組み**の構築。
- **位置情報も基本保有**していくことの施策推進や指針の提示。
- 県へ協力呼びかけ。公開と県内市町村への**公開支援**。地方局などの**アドバイザー**。
- 大量の報告書ではなく**もっとわかりやすい指針**の提示。
- **民間も保有している情報のオープン化**を推奨。
- 膨大なデータを分析していく**人材を育成**の支援。
- **データマッチングの場**の創出(市民・企業・行政)。
- オープンデータの取組への**補助金**(自治体では予算措置しにくい)。
- **データ分析センター**など作成の実務支援を行う機関の設置。

社会への期待

- 行政だけでなく民間団体、企業など多方面から保有している**データが集積**されること。
- **人材育成・分析能力の向上**(データひとつひとつに意味があってそれを理解するという流れができると良い)。
- 共創によりデータを活用した**モデル事業**(成功事例)ができるとう良い。
- オープンデータを民間団体、企業などまちづくりの**コミュニケーションツール**として利用してもらう。

(参考)NPO法人プロジェクトゆうあいの取組

NPO法人プロジェクトゆうあい

「バリアフリー」「まちづくり」「情報化の推進」をキーワードに様々な取組を実施。

特に、障害者、高齢者が、より安心し、より便利に歩くことができるよう、バリアフリー情報、生活便利情報、歩行空間情報を発信するための、**ウェブシステムの開発、コンテンツ開発、アプリ開発**を行うとともに、その実証実験を実施。

<実績>

- 松江のまちのバリアフリー情報を紹介する「**てくてくマップ松江**」「**てくてくウェブ松江**」の制作運用。
- バリアフリーの観光地に関する取組として「**松江・山陰バリアフリーツアーセンター**」の運営、観光地のバリアフリー情報サイト「**てくてく山陰**」の運用(松江市保健福祉課と連携)。
- 全国のバリアフリー観光を推進するNPOの連携組織「**日本バリアフリー観光推進機構**」の設立。

(参考)NPO法人プロジェクトゆうあいの現地事業

NPO法人プロジェクトゆうあい 事業概要例

- 実施テーマ
車いす使用者、視覚障害者へ歩行者移動支援情報として提供することにより、安心して便利に街中を移動できる環境作りを目指す。
- 課題やニーズ
車いす使用者、視覚障害者の歩行移動を、携帯端末、中でもスマートフォンを活用して情報提供の面から支援する。

事業成果

- バリアフリー情報総合サイト「てくてくウェブ松江」をベースとし、歩行者移動に関するより有効なシステム、コンテンツを開発
- 視覚障害者用のスマートフォン向けの歩行移動支援アプリを開発



てくてくウェブ松江(PC/スマートフォン/携帯)



てくてくナビ(スマートフォン・iPhone アプリ)

(参考) 用語情報

■ 松江SNMS(ソーシャルネットワークマップシステム)

松江市や島根大学が保有する観光情報、歴史・文化情報等をオープンデータ化して公開し、地理情報システムを用いて地図上に表示できる仕組み。掲載されている情報を利用される方が再利用することが可能。地域の課題解決や企業のマーケティングツールとしての活用することが可能。松江ソーシャルネットワークマップシステムはオープンソースのプログラミング言語 Ruby で構築。

■ Ruby

世界的に高い評価をうけている国産プログラミング言語。松江市名誉市民である松本氏により開発。松江市は本言語で地域振興に積極的に取り組んでいる。同市においては、島根県、松江市、中国経済産業局の支援を得て、地元事業者の「Ruby」によるビジネス機会の創造のため、島根県や松江市及び大学が自身の情報システムに「Ruby」を積極的に調達・導入。

■ オープンデータ活用歴史ハッカソンin 松江

松江市の松江歴史館が所有する歴史情報を、Ruby・OSSプロジェクトセンターで開発した「松江ソーシャルネットワークマップ」を通じてオープンデータ化を進め、そのデータを活用した街づくりにつながるアプリケーションのアイデアや開発を学生や市民の手で進めることを目的に企画したイベント。

■ Matsueオープンデータバンク

経済産業省より委託を受けた平成26年度電子経済産業省構築事業「オープンデータを活用したビジネスモデルの構築に向けた実証事業」において構築したデータベースモデル。